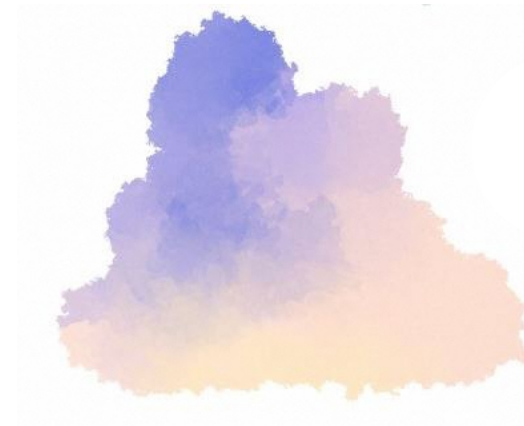
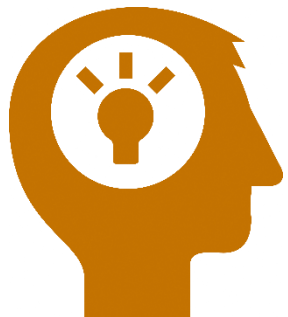


コロナ禍におけるボランティア活動の意味とは？

- ボランティアは、個人のほっとけない・なんとかしたいという思いから始まる自主的な取り組みだが、活動がしづらく、制限される状況
- しかし、コロナ禍によって、困難を抱える人は増えている
- また、困難を抱える人を支えていたNPOや地域団体も活動しづらくなっている
- 今こそ、社会課題に取り組み、困難を抱える人々へ寄り添い・支えるボランティア活動の意義を再認識し、感染拡大を予防しながら、できること、身近なアクションを！



ボランティアとは



「ボランティア」の特性

志願兵⇔徴集兵

➤ 語源 volunteer→volunte+er（人を示す接尾辞）

→ Voluntas（ウォルンタ～ス（ラテン語）自由意志）

➤ 語幹 ラテン語・volo（ウォロ＝英・will：喜んで～する）

→ 「**自発性**」が中核概念

意思・思いを
カタチに

➤ **自発性・主体性** →やる気（放っておけない、我慢できない、好きなこと、得意なこと）

➤ **社会性・公益性** →誰かのために役に立ちたい（「私益・共益」志向ではない）

➤ **無償性** →手弁当、「自分から進んでする」からこそ、
自分が費用を負担して（無償）でも取り組む

➤ **先駆性・創造性** →気づいた人が取り組む

ボランティア元年
(1995年)



ボランティアが活躍する組織・社会

- 使命に共感し、労力、技術、アイデア、多様な専門性、意欲をもたらす
- 収益が得にくくとも、広く人々が共感する事業の展開が可能に
→制度の枠にとどまらない社会改善の担い手へ
- 意欲を持ち、創造的に、自治の主体へ

ボランティアが行動に至る複雑な心理要因 “volunteers’ motivations” より

社会 social	•友人が活動していたり、知人がコミュニティーサービスをしていたりした場合、その影響を受けて参加する。
価値 value	•困難を抱える人たちや社会的な問題に関心を持ち、その人たちへの援助や、問題解決に向けて行動することが重要であると考えて参加する。
キャリア career	•新しい体験の機会を得たり、次のキャリアを探す手がかりを得るために参加する。
理解 understanding	•ものごとについて新しい見方や考え方を習得したり、直接的な体験を通じて学ぶために参加する。
保護 protective	•トラブルを避けたり、嫌なことを忘れさせてくれたり、孤独にならないで済むので参加する。
尊重 esteem	•自分が必要とされ欠かせない人であると感じるようになり、自己意識、自尊感情（self-esteem）が高まるので参加する。

組織でボランティアが力を発揮するには

- ボランティア（個人）のニーズ
- 組織の思い、ニーズの棚卸し
- 活動プログラム立案のためのニーズの把握

